

○事業概況

令和4年度の水運用については、前年度の後半期から降雨量が少なく、滝畑ダムの貯水率が低下したため、4月～5月に26日間、梅雨時期の少雨の影響で8月～9月にも52日間、さらに1月から年度末まで61日間、取水制限となりました。

また、水需要については、大幅な人口減少等により減少傾向にあることから、依然として厳しい経営環境が続いています。

令和4年度の上下水道ビジョンに基づく主な施策としては、「安全」の取り組みとして、老朽化した浄水施設の統廃合（ダウンサイジング）や安定水源の確保を目標として、基幹施設である西之山配水池の統廃合と企業団第2分岐の導入を図るため、西之山配水池更新工事の実施設計に着手しました。また、水質基準改正への対応として、日野浄水場活性炭注入設備更新工事に着手しました。「強靱」の取り組みとして、重要給水施設などへの水道管路の更新工事を実施しました。また、老朽施設の更新として、千代田受水場の電気・機械設備の更新工事に着手しました。「持続」の取り組みとして、令和5年度の上下水道ビジョンの中間見直しに向けて、日野浄水場更新計画を策定しました。また、水道施設の運転維持管理を近隣市町と共同発注する水道施設包括的維持管理業務をプロポーザル方式で契約しました。

○業務量

事 項	単 位	令和4年度	令和3年度	比 較		
				増 減	対前年度比 (%)	
行政区域内人口	人	100,039	101,276	△1,237	98.8	
年度末給水人口	人	100,025	101,262	△1,237	98.8	
普 及 率	%	99.99	99.99	0.00	100.0	
年度末給水戸数	戸	47,508	47,497	11	100.0	
配水量	年間	m ³	10,698,520	10,761,237	△62,717	99.4
	1カ月平均	m ³	891,543	896,770	△5,227	99.4
	1日平均	m ³	29,311	29,483	△172	99.4
有収水量	年間	m ³	9,965,957	10,220,704	△254,747	97.5
	1カ月平均	m ³	830,496	851,725	△21,229	97.5
	1日平均	m ³	27,304	28,002	△698	97.5
1日最大配水量	m ³	33,168	33,141	27	100.1	
有 収 率	%	93.15	94.98	△1.83	98.1	

○令和4年度決算

【 収益的収支関係 】

(単位 : 円 税抜)

	令和4年度決算	令和3年度決算	増 減	主な増減内容
水道事業収益	2,303,846,620	2,336,585,816	△ 32,739,196	
営業収益	1,523,597,546	1,684,465,860	△ 160,868,314	給水収益の減 (△163,308,320)
営業外収益	780,249,074	652,119,956	128,129,118	一般会計繰入金の増 (134,740,953) 長期前受金戻入の減 (△17,812,371)
水道事業費用	2,227,921,112	2,147,503,294	80,417,818	
営業費用	2,144,090,797	2,072,735,058	71,355,739	原水浄水費の増 (46,407,360) 共同施設管理費の増 (30,642,670)
営業外費用	83,830,315	74,768,236	9,062,079	資産減耗費の減 (△10,654,828) 雑支出の増 (15,126,158)
差 引	75,925,508	189,082,522	△ 113,157,014	

【 資本的収支関係 】

(単位 : 円 税込)

	令和4年度決算	令和3年度決算	増 減	主な増減内容
資本的収入	389,266,309	538,966,033	△ 149,699,724	
企業債	200,000,000	150,000,000	50,000,000	企業債の増 (50,000,000)
他会計負担金	7,793,335	4,076,937	3,716,398	
工事負担金	93,965,420	321,811,050	△ 227,845,630	工事負担金の減 (△227,845,630)
一般会計繰入金	37,379,208	12,885,704	24,493,504	一般会計繰入金の増 (24,493,504)
長期貸付金返還金	50,000,000	50,000,000	0	
その他	128,346	192,342	△ 63,996	
資本的支出	1,178,940,913	1,302,022,529	△ 123,081,616	
建設改良費	839,462,590	971,360,891	△ 131,898,301	配水施設等改良工事費の減 (△163,636,841)
企業債償還金	339,349,977	330,469,296	8,880,681	
投資	128,346	192,342	△ 63,996	
差 引	△ 789,674,604	△ 763,056,496	△ 26,618,108	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 789,674,604円は、当年度分消費税資本的収支調整額 62,387,041円及び過年度分損益勘定留保資金 727,287,563円で補てんした。

○職員数について

(単位:人)

	令和4年度決算	令和3年度決算	増減	備考
事務職員	9	9	0	再任用短時間・会計年度任用 (パートタイム) 職員含まず
技術職員	12	14	△ 2	
合 計	21	23	△ 2	

○基金の状況について

(単位:円)

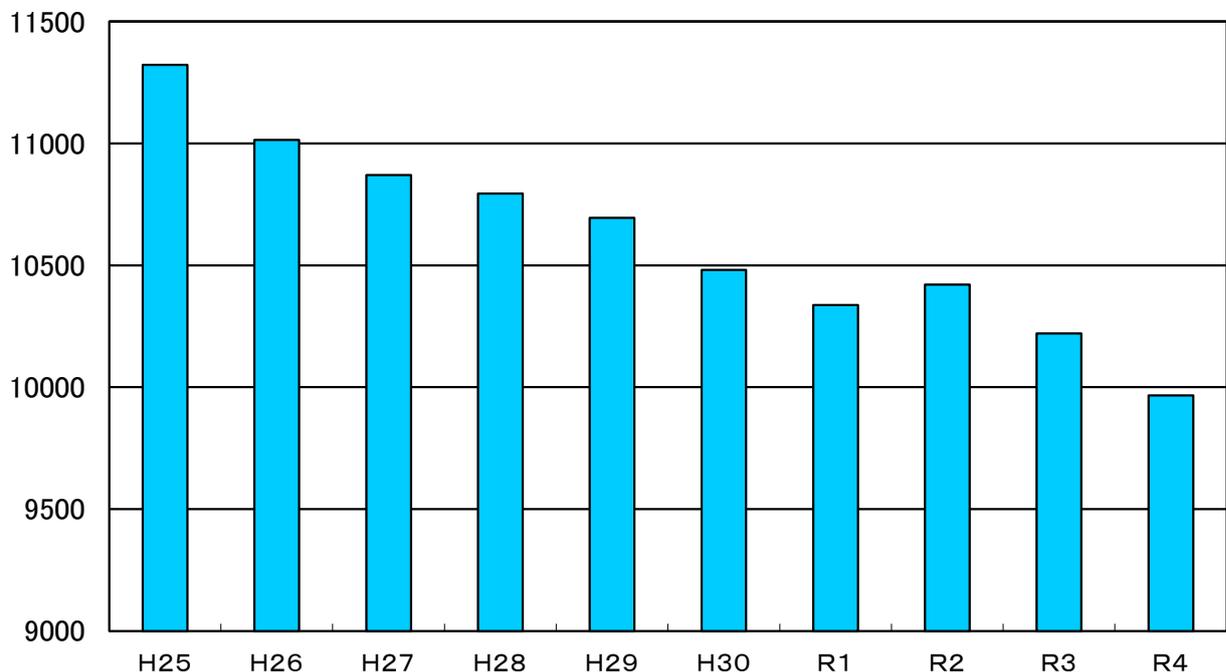
	令和3年度末残高	積立額	使用額	令和4年度末残高
水道事業基金	177,329,202	128,346	0	177,457,548

○企業債の状況について

(単位:円)

	令和3年度末残高	借入額	償還額	令和4年度末残高
企業債	4,184,399,543	200,000,000	339,349,977	4,045,049,566

○年度別有収水量 (千m³)



令和4年度 下水道事業会計決算

資料4-2

○事業概況

令和4年度の下水道使用料収入は、供用開始済の地域での水洗化を実施したものの、人口減少に伴う水需要の減少などにより、前年度と比較して減少しました。一方、費用についても、企業債の支払利息の減少などにより、前年度と比較して減少しました。

令和4年度の上下水道ビジョンに基づく主な施策としては、「快適な生活環境」の取り組みとして、公共下水道整備事業及び浄化槽整備事業を実施しました。

「安全・安心」の取り組みとして、住宅団地の老朽化した下水道管路施設や中継ポンプの設備更新について、ストックマネジメント計画に基づき長寿命化対策工事を実施しました。また、災害時における避難所の生活衛生を確保するため、高向小学校などでマンホールトイレの整備を行いました。

「安定・経営基盤の強化」の取り組みとして、大幅な人口減少などによる下水道使用料の減収や、燃料費などの高騰と経費負担の見直しなどによる流域下水道負担金の更なる増大といった経営状況の変化を踏まえ、上下水道ビジョンの中間見直しに着手しました。

○業務量

事 項	単 位	令和4年度	令和3年度	比 較		
				増 減	対前年度比 (%)	
行政区域内人口	人	100,039	101,276	△1,237	98.8	
年度末整備人口	人	94,807	95,740	△933	99.0	
普 及 率	%	94.77	94.53	0.24	100.3	
処理区域内人口	人	94,571	95,448	△877	99.1	
水洗化人口	人	90,686	91,556	△870	99.0	
水洗化率	%	95.89	95.92	△0.03	100.0	
水洗化世帯	世帯	42,976	42,876	100	100.2	
浄化槽整備人口	人	503	469	34	107.2	
有 収 水 量	年間	m ³	9,056,500	9,261,840	△205,340	97.8
	1カ月平均	m ³	754,708	771,820	△17,112	97.8
	1日平均	m ³	24,812	25,375	△563	97.8
年間下水道管布設延長	m	1,761	2,308	△547	76.3	

○令和4年度決算

【 収益的収支関係 】

（ 単位：円 税抜 ）

	令和4年度決算	令和3年度決算	増 減	主な増減内容
下水道事業収益	3,127,566,022	3,187,905,174	△ 60,339,152	
営業収益	1,484,021,253	1,521,416,074	△ 37,394,821	下水道使用料の減 (△31,470,797)
営業外収益	1,605,789,594	1,652,793,385	△ 47,003,791	長期前受金戻入の減 (△10,936,212) 雑収益の減 (△41,537,770)
特別利益	37,755,175	13,695,715	24,059,460	過年度損益修正益の増 (11,511,278)
下水道事業費用	2,954,582,527	2,992,372,843	△ 37,790,316	
営業費用	2,627,626,482	2,651,393,488	△ 23,767,006	管渠費の減 (△43,933,340) 流域下水道維持管理負担金の増 (7,109,940)
営業外費用	303,915,825	340,979,355	△ 37,063,530	支払利息の減 (△33,657,091)
特別損失	23,040,220	0	23,040,220	過誤納付還付金の増 (23,040,220)
差 引	172,983,495	195,532,331	△ 22,548,836	

【 資本的収支関係 】

(単位:円 税込)

	令和4年度決算	令和3年度決算	増 減	主な増減内容
資本的収入	1,723,139,443	1,700,860,560	22,278,883	
企業債	1,199,128,000	1,125,520,000	73,608,000	建設企業債の増 (70,600,000)
他会計出資金	331,815,273	319,561,740	12,253,533	一般会計からの出資金の増 (12,253,533)
国庫補助金	159,341,000	220,304,000	△ 60,963,000	社会資本整備総合交付金の減 (△66,000,000)
府補助金	312,000	22,000	290,000	
負担金及び分担金	32,543,170	35,452,820	△ 2,909,650	工事負担金の減 (△4,750,900)
資本的支出	2,912,911,311	2,902,947,070	9,964,241	
建設改良費	727,196,370	739,340,756	△ 12,144,386	委託料の減 (△66,208,430) 流域下水道建設費負担金の増 (49,717,376) 補償費の減 (△8,921,200) 工事請負費の増 (9,222,134)
企業債償還金	2,135,714,941	2,113,606,314	22,108,627	資本費平準化債元金償還金の増 (11,994,637)
他会計借入金償還金	50,000,000	50,000,000		
差 引	△ 1,189,771,868	△ 1,202,086,510	12,314,642	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,189,771,868円は、当年度分消費税資本的収支調整額42,624,571円、減債積立金169,600,000円、損益勘定留保資金923,479,907円及び当年度利益剰余金処分額54,067,390円で補てんした。

○職員数について

(単位:人)

	令和4年度決算	令和3年度決算	増減	備考
事務職員	8	8	0	再任用短時間・会計年度任用 (パートタイム) 職員含まず
技術職員	9	7	2	
計	17	15	2	

○企業債の状況について

(単位:円)

	令和3年度末残高	借入額	償還額	令和4年度末残高
企業債	21,651,445,933	1,199,128,000	2,135,714,941	20,714,858,992

○年度別有収水量 (千m³)

